

障がいのある方が地域で働き、地域で暮らすために

第16回

雇用・就労支援フォーラム

人は障がいの有無に関係なく、「働くこと」とおして生活に必要な技能を高め、知識を習得し、地域との関わりを広げていきます。「働くこと」は、自らの生活の質を高めるとともに、社会に貢献することになります。そして、働く環境を提供することは、企業の責務の一つであると考えています。

沖縄同友会では、「健障者委員会」を設置して、障がいのある方や就職困難者の「働きたい」に応え、共に働くことによって、互いが共に育つ魅力ある企業づくりをすすめています。このフォーラムでは、企業をはじめ、保護者、教育、福祉、行政、保健、医療の各関係者が集い、企業の「ためらい」と「負担感」の払拭、障がいのある方の「夢」と「希望」を実現するための環境づくりについて考えます。

日時

2022年10月2日(日) 13:00~19:00
(12:30 受付開始)

会場

基調講演・分科会・全体会
もとぶ文化交流センター (本部町大浜874-1)
オンライン (Zoom) ※分科会は第3分科会のみ併用
見学分科会
アタイハートネットワーク (本部町崎本部127)

参加費

無料

タイムスケジュール

12:30 ~	受付開始
13:00 ~ 13:10	オープニング
13:15 ~ 13:25	開会式・表彰式
13:25 ~ 13:40	体験発表
13:45 ~ 15:15	基調講演
15:30 ~ 18:20	分科会 (裏面参照)
18:30 ~ 19:00	全体会

基調講演 (13:45 ~ 15:15)
オンライン (Zoom) 併用

テーマ

障害者は戦力 共に働く関係

講師



厚生労働省 職業安定局
障害者雇用対策課長
小野寺 徳子 氏
(おのでのりこ)

【プロフィール】

早稲田大学教育学部卒業後、障害者の親の会が運営する障害児の集団療育の現場で指導員として1年間勤務し、平成2年労働省(当時)に入省。山梨労働局職業安定部長、埼玉労働局職業安定部長、ハローワークサービス推進室長、首席職業指導官を歴任し、令和元年7月から現職。平成31年3月、明治大学ガバナンス研究科修了(公共政策修士)。

小野寺
さんからの
メッセージ

我が国の障害者雇用は働く障がい者の皆さん、そして雇用する企業、更には障害者就労支援に携わる関係者など、それぞれの努力によって大きく進展しました。

今年の6月には労働政策審議会障害者雇用分科会において「今後の障害者雇用施策の充実強化について」として意見書がとりまとめられました。障がいを持つ皆さんが特性を生かし、持てる能力を発揮して活躍できる雇用の質の向上、多様な働き方の推進を中心に、次のステージに向けて行われた議論等をご紹介し、今後の障害者雇用の道筋を皆さんと共有できればと思います。

主催 沖縄県中小企業家同友会・健障者委員会、雇用・就労支援フォーラム実行委員会 共催 沖縄県・本部町

後援 沖縄労働局、沖縄県教育委員会、本部町教育委員会、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄支部 沖縄障害者職業センター、(一財) 沖縄県セルフセンター、(福) 沖縄県身体障害者福祉協会、(一社) 沖縄県知的障害者福祉協会、(公社) 沖縄県精神保健福祉会連合会、(公社) 沖縄県手をつなぐ育成会、沖縄県特別支援学校PTA協議会、沖縄県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会、(福) 沖縄県視覚障害者福祉協会、(一社) 沖縄県聴覚障害者協会、(一社) 沖縄県PTA連合会、沖縄県高等学校PTA連合会、(福) 本部町社会福祉協議会、北部地区障害者就業・生活支援センターティダ&チムチム、中部地区障害者就業・生活支援センター花灯、南部地区障がい者就業・生活支援センターかるにあ、障害者就業・生活支援センターみやこ、八重山地区障害者就業・生活支援センターどりいむ、(公財) 沖縄県労働者福祉基金協会、本部町商工会、NHK沖縄放送局、琉球新報社、沖縄タイムス社、沖縄テレビ放送(株)、琉球放送(株)、琉球朝日放送(株)、沖縄ケーブルネットワーク(株)、(株)ラジオ沖縄、(株)エフエム沖縄、(株)FMやんばる、(一社) 沖縄県作業療法士会、(一社) 沖縄県社会福祉士会、(一社) 沖縄県精神保健福祉士協会、NPO法人おきなわ障がい者相談支援ネットワーク、沖縄県難病相談支援センターNPO法人アンビシャス、沖縄県発達障がい者支援センター(がじゅま〜)、南部地区障がい者就業・生活支援センターブリッジ

お問い合わせ/沖縄県中小企業家同友会 TEL:098-859-6205